



札幌・ジュニア・ジャズスクール Club S J F

なかほらよしみち せきゆうた  
中原嘉路さん・関裕太さん



▲練習風景



▲中原さん（左・稲陵中1年）と  
関さん（北嶺中3年）



▲5月5日に行われた  
定期演奏会の模様



## 大切な仲間とジャズを楽しむ！

中原さんと関さんは、札幌市芸術文化財団が運営する1期1年制の中学生バンド「札幌・ジュニア・ジャズスクール Club S J F」のメンバーです。中原さんはテナーサクソ、関さんはドラムを担当。現在、「サッポロ・シティ・ジャズ」の関連イベントとして、7月17日(金)午後7時から行われる「札幌・ジュニア・ジャズスクール meets わたなべさだお 渡辺貞夫ライブ」(会場:中央区大通公園2丁目ホワイトロックミュージックテント)に向けて練習しています。

「曲が最後まで弾けたときが一番うれしい」と話す中原さん。入校のきっかけは、小学4年生のときにリコーダーがうまく吹けなかったことだと言います。練習を積み重ねた今では、スクールのオーディションに毎年合格するほどの技術を身に付け、あこがれの先輩を目標に毎日頑張っています。

一方、幼い頃から音楽に親しんできた関さんは、今年で中学3年生。学校の勉強も大変な時期ですが、「音楽が大好きだから」と練習も毎日欠かしません。毎年、老人福祉施設や病院等で開催される社会福祉演奏会で「年配の方が喜んでくれることがうれしい」とライブ演奏を心から楽しんでいます。

大人顔負けの演奏技術もさることながら、連帯感がとても強い「Club S J F」。「バンドメンバーは、大切な仲間」だと語る2人は、7月17日(金)のライブに向け、「今よりも2倍うまくなれるように練習して、演奏を聞いてもらいたい」と抱負を語ってくれました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639